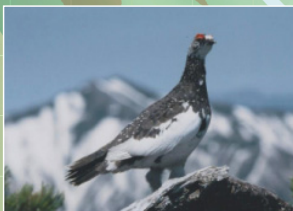


新たな中部圏広域地方計画

暮らしやすさと歴史文化に彩られた
“世界ものづくり対流拠点-中部”



新たな中部圏広域地方計画

第1章 我が国と中部圏を取り巻く情勢

第1節 時代の潮流(我が国を取り巻く情勢)

1. グローバリゼーションの進展
2. 世界を先導するスーパー・メガリージョンの形成
3. 急激な人口減少・少子化、異次元の高齢化の進展
4. 巨大災害の切迫、インフラ老朽化
5. 環境、エネルギー問題への対応
6. 技術革新の進展
7. 国民の価値観の変化
8. 国土空間の変化

第2節 中部圏を取り巻く情勢

1. 中部圏の地域特性・強み
 - ・地勢・自然的特性
 - ・歴史・文化的特性
 - ・多極分散型で重層的な地域構造
 - ・ものづくりに秀でた産業特性
 - ・ゆとりある生活環境
2. 中部圏の状況・課題
 - ・人口動向
 - ・産業とインフラ
 - ・災害
 - ・環境、エネルギー、土地
 - ・地域社会と生活

第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針

第1節 中部圏の目指すべき将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた “世界ものづくり対流拠点－中部”

〈世界の中の中部〉

〈日本の中の中部・中部の中の人々〉

〈前提となる安全・安心、環境〉

- … 世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバルハブ
- … リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部
- … 南海トラフ地震などの災害に強くなやか、環境と共生した国土

第2節 将来像実現に向けた基本方針

第3章 基本方針に係る具体的方策

第4章 新たな中部圏の実現に向けた具体的取組

<方針1> 世界最強・最先端のものづくり の進化

1. 我が国の成長を担う産業の強化
～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～
2. 高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生
3. 水素社会実現など新しい世界モデルの提示
4. 国際競争力を支える産業基盤の強化

1.ものづくり中部・世界最強化プロジェクト

<方針2> スーパー・メガリージョンのセンター、 我が国の成長を牽引

1. リニアを活かした新たな中部圏の形成
～日本のハートランド・中部～
2. リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及
3. 国際大交流時代を拓く観光・交流

2.リニア効果最大化対流促進プロジェクト
3.新たな観光交流おもてなしプロジェクト

<方針3> 地域の個性と対流による地方 創生

1. コンパクト＋ネットワーク
2. 広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成
3. 地域産業の活性化による地域活力の維持・発展
4. 地域の個性を活かした交流連携の創出
5. 快適で安全・安心な生活環境の構築

4.中部圏創生暮らしやすさ実感プロジェクト
5.快適・安全安心な生活環境実現プロジェクト

<方針4> 安全・安心で環境と共生した 中部圏形成

1. 災害に対して粘り強くなやかな国土の構築
2. 環境と共生した持続可能な地域づくり
3. 国土の適切な保全
4. インフラの維持・整備・活用

6.中部・北陸圏強靱化プロジェクト
7.環境共生・国土保全プロジェクト
8.インフラ戦略的維持管理プロジェクト

<方針5> 人材育成と共助社会の形成

1. 中部圏を支える人材の育成と確保
2. 全ての人が参画し輝く社会の形成
3. 多様な主体による共助社会づくり
4. 誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり
5. 医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

9.すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト
10.新たな「つながり」社会構築プロジェクト

第5章 計画の効果的推進に向けて

・選択と集中による重点化・効率化を図った施策展開

・PDCAサイクルによるフォローアップ

- ・活発な社会経済活動による様々な環境問題
- ・渇水に対する懸念、エネルギー調達リスクの高まり
- ・相対的に安価な土地

第2章 中部圏の目指すべき将来像と実現に向けた基本方針

目指す方向

- 世界を先導するスーパー・メガリージョンを舞台に、そのセンターとして、ものづくりを基軸に我が国の成長エンジンの一翼を担う。
- 名古屋大都市圏と周辺都市・地域が連携・融合・対流する日本のハートランド。
- 人口減少・高齢化に適応し、リニア効果を最大限発揮。東京一極集中の是正や地方への人口環流を先導。

中部圏の将来像

暮らしやすさと歴史文化に彩られた“世界ものづくり対流拠点-中部”

＜世界の中の中部＞
世界最強・最先端のものづくり産業・技術のグローバル・ハブ

＜日本の中の中部・中部の中の人々＞
リニア効果を最大化し都市と地方の対流促進、ひとり一人が輝く中部

＜前提となる安全安心・環境＞
南海トラフ地震などの災害に強くなやか、環境と共生した国土

世界に冠たるものづくり技術と品質。世界中からビジネスチャンス求めて、ヒト、モノ、カネ、情報が集まり対流。**環太平洋・日本海に拓かれた我が国の一大産業拠点**

高速交通ネットワークを活かし中部北陸に広がる国内外との交流連携、対流促進。
産業や文化、ライフスタイルなど新たな価値創造、ひとり一人の豊かさを実感、地方創生

太平洋・日本海2面活用型の強靱な国土。環境共生、国土保全、国土基盤の維持管理・活用など、国土の適切な管理による安全安心で持続可能な国土

中部圏の戦略産業

H27.11.11 MRJ初飛行

【写真提供】三菱航空機株式会社



【出典】トヨタ自動車株式会社HP

能登空港
伏木富山港
北陸圏
小松空港
北陸新幹線
北陸自動車道
中部縦貫道
富山空港
長野道
上信越自動車道
信州まつもと空港
中部横断道
中央自動車道
東海環状自動車道
名神高速道路
東海道新幹線
新名神高速道路
関西圏
関西国際空港
阪神港
リニア中央新幹線
津松阪港
尾鷲港
中部国際空港
四日市港
名古屋港
東海環状自動車道
東名高速道路
東京圏
成田国際空港
京浜港
羽田空港
清水港
田子の浦港
富士山静岡空港
三河港
衣浦港
御前崎港
名古屋港
環太平洋連携

金化

地域の個性と
対流による地方創生

世界最強・最先端の
ものづくりの進化

スーパー・メガリージョンのセンター
我が国の成長を牽引

安全安心
環境共生

人材育成
共助社会

リニア中央新幹線



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

写真提供INEXCO中井

【写真提供】名古屋港管理組合

第3章 基本方針に係る具体的方策

第4章 新たな中部圏の実現に向けた具体的取組

中部・北陸圏広域連携

方針1 世界最強・最先端のもの づくりの進化

世界を先導、人材力・技術力・集積力、研究力、品質力のさらなる進化。
国内外から投資を呼び込む太平洋から日本海に至る広域産業クラスター。
中部・北陸圏、産学官民の連携強化。

1.ものづくり中部・世界最強化 プロジェクト

1-1ものづくり中枢圏形成

1-2 環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成

方針2 スーパー・メガリージョンの センター、我が国の成長を 牽引

リニア効果を中部・北陸圏の広域に最大化する地域づくり。
中部圏の魅力を高め、東京一極集中は正と地方への人口還流、国際大交流時代を先導。

2.リニア効果最大化対流促進 プロジェクト

3.新たな観光交流おもてなし プロジェクト

3-1広域観光交流圏の形成

3-2「昇龍道プロジェクト」の推進

方針3 地域の個性と対流による 地方創生

コンパクト＋ネットワーク。地域の個性・資源を磨き上げ、重層的対流を促進。
地域に活力を生み、就業が安定的に確保され、豊かさを実感できる社会構築。

4.中部圏創生暮らしやすさ実感 プロジェクト

5. 快適・安全安心な生活環境実現 プロジェクト

方針4 安全・安心で環境と共生し た中部圏形成

南海トラフ地震など自然災害に備えた防災・減災対策。
環境共生(生物多様性、景観)国土保全。
国土基盤の戦略的メンテナンス、持続可能な中部圏構築。

6.中部・北陸圏強靱化 プロジェクト

6-1 南海トラフ地震など大規模自然災害への備え

6-2 太平洋・日本海2面活用型国土構築

7.環境共生・国土保全 プロジェクト

8.インフラ戦略的維持管理 プロジェクト

方針5 人材育成と共助社会の形 成

次代を担う人材の育成、ゆとりある生活環境を活かし、女性や高齢者をはじめ誰もが参画できる社会。
地域に愛着と憧れを持ち助け合う共助社会を実現。

9.すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト

10.新たな「つながり」社会構築 プロジェクト

【方針1】世界最強・最先端のものづくりの進化

【具体的方策】

我が国の成長を担う産業の強化
～企業の国内回帰・海外の対日投資を呼び込む～

- ・中部圏の産業競争力の強化、世界最強・最先端のものづくり中枢圏の形成
- ・ものづくりを支える中堅・中小企業の振興
- ・環太平洋・環日本海に拓かれた一大産業拠点・中部北陸圏の連携強化

高度なものづくり技術の活用による新たな産業の創生

- ・ものづくり産業に関連する新たな産業の創生
- ・大学や官・民の研究施設等のネットワーク強化による更なる研究力の強化

水素社会実現など新しい世界モデルの提示

- ・先陣を切ったFCV開発・量産化、水素社会実現のアドバンテージ
- ・低炭素社会に向けた未来の水素社会の世界モデルを提示

国際競争力を支える産業基盤の強化

- ・基幹産業を支える国際物流拠点の強化
- ・ものづくり産業を支える陸海空の拠点を結ぶ道路ネットワーク強化
- ・将来を見据えた総合的な土地の利活用
- ・安定したエネルギー供給の多様化、安定した水の供給

【主な取組事例】

1.ものづくり中部・世界最強プロジェクト

ものづくり中枢圏形成

- ・自動車関連産業、航空宇宙産業(アジアNo1航空宇宙産業クラスター形成)、ヘルスケア産業、環境産業等
- ・ものづくり人材育成、産学官連携

環太平洋・環日本海に拓く一大産業拠点形成

- ・東海北陸コンポジットハイウェイ構想、産産・産学連携
- ・北陸ライフサイエンス・中部ものづくり、医工連携

次世代新素材CNF実用化研究開発

- (ふじのくにCNFフォーラム等)
- ・新エネルギー産業創出研究開発
(岐阜県次世代エネルギー産業創出コンソーシアム等)
- ・ロボット技術開発・事業化支援
(あいちロボット産業クラスター推進協議会など)

水素ステーション整備(FCV普及促進協議会等)

- ・みえ水素エネルギー社会研究会
- ・燃料電池関連技術開発支援
(あいち産業科学技術総合センター等)

- ・国際拠点港湾(名古屋港・四日市港・清水港)重要港湾(衣浦港・三河港・御前崎港等)
- ・中部国際空港(完全24時間化などの機能強化)
- ・東西軸・南北軸・環状軸、基幹ネットワーク機能強化
- ・庄内川・木曾三川等、総合的な治水
- ・木質バイオマス発電、メタンハイドレート(渥美・志摩半島沖)ハイドリフタナリ(四日市コンビナート)等
- ・水資源開発施設(設楽ダム等)

【戦略産業】

■自動車関連産業



■航空宇宙産業

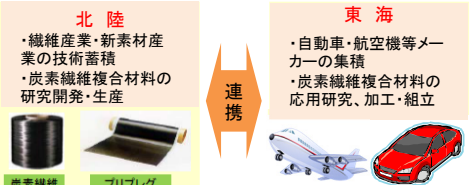


■ヘルスケア産業



■東海北陸コンポジットハイウェイ構想

名古屋大学・岐阜大学・金沢工業大学や公共試験研究機関など産学連携ネットワークによる、炭素繊維複合材に関する研究開発から生産・加工・組立までを行う世界的な一大拠点を目標とする



■ものづくり中堅・中堅企業の振興(メッセナゴヤ開催)



■ものづくり関連新産業創生(ロボット産業の振興)



■ものづくりを支える産業基盤の強化



■水素社会普及啓発



■エネルギーの多様化(木質バイオマス発電)



【方針2】スーパー・メガリージョンのセンター、我が国の成長を牽引

【主な取組事例】

【具体的方策】

リニアを活かした新たな中部圏の形成～日本のハートランド・中部～

- ・中部圏の役割と中部固有の新たな価値の創造
- ・国際競争力のある階層的大都市圏構造の構築
- ・リニア中間駅を核とした地域づくり
- ・東海道新幹線・新東名高速沿線地域へのリニア効果波及

リニア効果の中部・北陸圏への広域的な波及

- ・名古屋駅のスーパーターミナル化
- ・広域波及のためのネットワーク強化

国際大交流時代を拓く観光・交流

- ・国内外との観光・交流の促進
- ・国際交流拠点としての魅力創造・発信、MICE、コンベンション機能拡充強化



©Central Japan Railway Company. All rights reserved.

2.リニア効果最大化対流促進 プロジェクト

- ・リニア効果、産業構造転換、ライフスタイル変革、世界イノベーションセンター
- ・名古屋における都心での機能集積、中川運河・堀川再生、コンベンション機能充実
- ・長野駅、リニアハブ構想、ナレッジリンク、移住定住、伝統芸能
- ・岐阜駅、リニア活用戦略、歴史文化・農林資源、東濃クロスエリア
- ・太平洋側リニア効果の受け皿整備、「内陸フロンティア」を拓く取組、富士山静岡空港、広域連携拠点としての機能強化

- ・名古屋駅でのリニアと既存鉄道・バス乗継利便性向上、名高速結節性強化
- ・名古屋駅と中部国際空港のリタナシー機能確保
- ・周辺都市との広域交通機能強化(道路ネットワーク)
- ・リニア中間駅へのアクセス強化(中部横断、三遠南信、濃飛横断等)
- ・名古屋駅からの鉄道アクセス40分交通圏拡大

3.新たな観光交流おもてなし プロジェクト

広域観光交流圏の形成

- ・静岡県中部・東部・伊豆～神奈川県西部～山梨県～長野県東部
- ・首都圏～長野県東部・北部～北陸圏
- ・長野県中部～岐阜県飛騨・奥美濃～北陸圏
- ・紀伊半島南部
- ・名古屋大都市圏～中京大都市圏

昇龍道プロジェクトの推進

- ・広域観光周遊ルート「昇龍道」の重点ルート設定
- ・訪日外国人旅行者の受入環境水準向上
- ・一貫した海外プロモーション

■名古屋駅スーパーターミナル化

【写真提供】名古屋市



【出典】名古屋駅周辺まちづくり構想

■中川運河の景観形成



■リニア岐阜県駅 (岐阜県リニア中央新幹線活用戦略) (交通広場イメージ)



【出典】中川運河再生計画
(名古屋市・名古屋港管理組合)

【出典】岐阜県観光振興
ツーリズムHP

■リニア長野駅 (リニアハブ構想・大自然・伝統芸能)

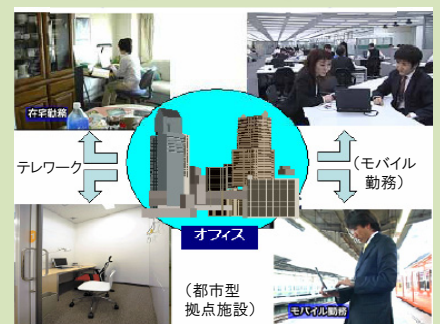


■「内陸フロンティア」を拓く取組



【写真提供】富士山
静岡空港株式会社

■ライフスタイルの変革



【地域資源、観光ルート(例)】

- : 広域観光拠点地区
- : 主要広域観光ルート
- (出典:「昇龍道」形成計画(H27.12国土交通大臣認定))
- : 将来の高速交通ネットワークの拡充を活かした広域観光ルートの例

■広域観光交流圏の形成



■昇龍道プロジェクト

(昇龍道海外プロモーション)

第23回 台北国際旅行博(H27.11)



(中部国際空港)
Central Japan Travel Center 開設



【方針3】地域の個性と対流による地方創生

【主な取組事例】

【具体的方策】

4. 中部圏創生暮らしやすさ実感 プロジェクト

- ・多面的機能「道の駅」(重点「道の駅」12駅)、「みなとオアシス」
- ・地域公共交通網形成計画、持続可能な公共交通ネットワーク形成
- ・中山間地域における生活交通の確保維持(高山市等)
- ・過疎地等における宅配サービスなど新たな輸送システム構築(静岡市玉川地区等)
- ・地域の交通と生活をつなぐ拠点「モビリティセンター」構築
- ・都市・生活サービス機能の維持、都市・地域の連携、相互補完
- ・立地適正化計画、都市機能集約、居住誘導、コンパクト化
- ・広域連携の先進をいく三遠南信地域連携
- ・県境を越えた広域連携(富士箱根伊豆地域、環白山地域等)
- ・農林水産業の成長産業化(6次産業化、地域ブランド化)
- ・植物工場実証パイロット事業、ICT活用・環境制御技術、農業・経済界連携による「先端モデル農業確立」、農業・ものづくり産業連携
- ・新たな流通プラットフォーム構築
- ・天竜・尾鷲ヒキ等、森林認証(FSC等)、「育てる林業」から「使う林業」へ
- ・水産業担い手確保(漁業士、漁師塾等)
- ・地域資源の保存・継承・磨き上げ・掘り起こし・活用による観光交流
- ・水辺空間を活かした地域活性化
- ・中部の魅力体感、グリーン・ツーリズム、スポーツ・ツーリズム、インフラツーリズム
- ・歴史的建造物・まちなみ保全(高山市、亀山市、犬山市等)
- ・伝統産業後継者育成、伝統的工芸品産業魅力アップ創造事業

5. 快適・安全安心な生活環境実現 プロジェクト

- ・公共交通網拡充(名古屋市中心部)、BRT強化(岐阜市)
- ・ETC2.0展開、安全運転支援システム実証実験(名古屋市内)
- ・超小型電動モビリティ活用実証(とよたエコプラザタウン等)
- ・幹線道路交通事故対策、生活道路・通学路安全対策、自転車環境
- ・安全運転支援技術の普及促進(運行記録計・ドライブレコーダーの取得支援)
- ・治安・防犯まちづくり、サイバー空間・トレサビリティ食の安全確保

コンパクト+ネットワーク

- ・「小さな拠点」の形成・活用による持続可能な地域づくり
- ・地域特性に即した「コンパクト+ネットワーク」による対流の促進

広域的な連携により創り出す都市圏・地方圏の形成

- ・連携中枢都市圏や定住自立圏構想による新たな広域連携
- ・地域の個性や特性を活かした広域連携による地域づくり

地域産業の活性化による地域活力の維持・発展

- ・地域を支える農林水産業の強化
- ・地域住民の生活を支える地域消費型産業の振興

地域の個性を活かした交流連携の創出

- ・地域資源を最大限活用する観光振興・観光業の活性化
- ・歴史・文化の魅力を活かしたまちづくり
- ・伝統工芸の振興

快適で安全・安心な生活環境の構築

- ・住民や利用者のニーズにマッチした次世代交通システムの構築
- ・住民生活の安全・安心の確保

■「小さな拠点」形成



■「道の駅」～多面的機能を活かして

「小さな拠点」の核としての活用～

産業振興 (奥伊勢おたけ)

「道の駅」直営農場

(生産者)

地域福祉
(明宝)

地域センター型として整備

防災拠点
(美濃にわか茶屋)

防災機能整備

交通結節点
(飛騨金山めぐりの里温泉)

コミュニティバス

観光エントランス
(どんぐりの里いなぶ)

観光拠点

EV充電施設

バス停

みなとオアシス
＊賑わい、交流、観光振興
防災機能など

みなとオアシスちた新舞子
(伊勢湾カップ2014)

地域個性を活かした交流連携
～中部ならではの多種多様な地域資源～

農林水産業の成長産業化

海女漁(鳥羽・志摩市)

世界遺産蘆山反射炉
(伊豆の国市)

水辺空間地域活性化
狩野川のきつねの嫁入り

飛騨牛フェア(バリエ市内のホテル)

FSC森林認証(浜松市)

グリーン・ツーリズム
(飛騨里山サイクリング)

歴史的建造物・街並の保全
(亀山市関宿)

伝統産業・伝統工芸
(美濃和紙・紙すき)

【出典】「SATOYAMA EXPERIENCE」HP

【出典】観光三重HP

【出典】岐阜市HP

【出典】豊田市HP

【出典】ドライブレコーダー

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

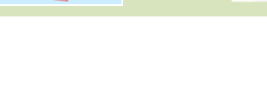
【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

【出典】岐阜市HP

■広域連携の先進をいく三遠南信地域連携

三遠南信地域の道路ネットワークを強化することで、三河港などの物流拠点を有する沿岸部と、農業、製造業等の産業拠点を結びつけ、ゾーン全体として産業を活性化



【方針4】安全・安心で環境と共生した中部圏形成

【具体的方策】

災害に対して粘り強くしなやかな国土の構築

- ・南海トラフ地震に備えた強靱な国土の構築
- ・頻発・激甚化する自然災害への対応
- ・都市の防災・災害対策の推進
- ・ものづくり産業の防災力強化
- ・広域的な連携による支援体制の強化
- ・ネットワークの多重性・代替性確保、並びに首都圏のバックアップ体制の強化
- ・地域防災力の向上

環境と共生した持続可能な地域づくり

- ・自然環境の保全・再生、環境と調和した美しい景観・国土づくり
- ・持続可能な都市・地域づくり

国土の適切な保全

- ・健全な水循環、総合的な土砂管理による循環型国土の構築
- ・物質循環の安定確保による地域循環圏の形成
- ・森林や農地の整備・保全

インフラの維持・整備・活用

- ・インフラの戦略的なメンテナンスの推進
- ・インフラの戦略的な活用(賢く使う)
- ・民間活力の活用
- ・地域の守り手としての建設業の強化、担い手の育成・確保

【主な取組事例】

6.中部・北陸圏強化プロジェクト

南海トラフ地震など大規模自然災害への備え

- ・南海トラフ地震対策中部圏戦略会議
- ・伊勢湾港湾広域防災協議会
- ・東海ネーデルラント高潮洪水地域協議会
- ・高潮堤防、海岸堤防、防波堤・防潮堤、都市河川
- ・建築物耐震・不燃化、無電柱化、密集市街地対策、地籍調査
- ・東西軸・南北軸・環状軸基幹ネットワーク強化
- ・自助・共助、大規模な広域防災拠点等整備、災害支援体制強化

太平洋・日本海2面活用型国土構築

- ・大規模災害、早期復旧復興のための体制・基盤整備
- ・太平洋-日本海広域企業間BCP

7.環境共生・国土保全プロジェクト

- ・中部山岳(ライチョウ保護増殖事業計画)、生物多様性の確保(東山の森づくり)
- ・木曾三川流域自治体連携会議による流域連携の推進
- ・伊豆半島ジオパーク・富士山、美しい風土風景、日本風景街道
- ・低炭素社会、大気環境保全、ESDユネスコ世界会議の成果展開

- ・伊勢湾再生推進会議、産学官民連携、排出汚濁負荷削減
- ・干潟・浅場保全再生
- ・砂防堰堤等の整備、既存ダム再開発・改良
- ・産業廃棄物適正処理、海面処分場整備
- ・森林環境税活用、農業・農地共同活動支援
- ・国土保全、ニホンジカなど有害害獣対策

8.インフラ戦略的維持管理プロジェクト

- ・インフラ長寿命化計画、老朽化・耐震化対策、予防保全
- ・中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム、ロボット技術開発
- ・スマートIC、ラウンドアバウト、ETC2.0、スマートインフラ
- ・PPP/PFIコンセッション方式(有料道路事業、上下水道、空港等)
- ・i-Construction(情報化・省力化・平準化)
- ・けんせつ未来懇話会、建設担い手育成ネットワーク協議会
- ・岐阜大学社会基盤ME養成講座、メンテナンス人材育成
- ・建設現場環境整備、女性・若手技術者育成

■太平洋・日本海2面活用型国土構築



* 広域連携防災訓練



* 緊急災害対策派遣隊 (TEC-FORCE)



■環境共生



■総合的な土砂管理(概念図)



道路の老朽化対策



* 建設業・担い手確保・育成 (けんせつ未来懇話会)



■インフラの維持・整備・活用

* i-Construction(イメージ)



* インフラを賢く使う



【方針5】人材育成と共助社会の形成

【具体的方策】

中部圏を支える人材の育成と確保

- ・高度人材、グローバルに活躍する人材
- ・地域社会の連携による人材の育成・確保

全ての人々が参画する社会の形成

- ・女性活躍社会 ～多様なライフスタイルの実現・人材育成～
- ・高齢者参画社会 ～健康長寿を伸ばし生き生きと活躍できる社会～
- ・障害者共生社会 ～誰もが社会参画し能力を最大限発揮し得る社会～
- ・多文化共生社会 ～多国籍外国人が安心して働き、暮らせる社会～

多様な主体による共助社会づくり

- ・日常生活支援サービス産業の育成、ソーシャルビジネスの起業、課題解決型NPOの育成
- ・多様な主体、活動の継続性、人材育成、資金調達・資金循環

誰もが愛着と憧れを持ち、働き住み続けたい地域づくり

- ・地域産業活性化(雇用)、空き家対策、UIJターン取り込み、郷土愛の醸成
- ・医療・介護・育児施設充実、若者や子育て世帯向け住宅供給、コミュニティ再生

医療・介護、福祉における安心な暮らしの確保

- ・医療・介護サービス充実、地域包括ケアシステム、住宅・福祉政策連携、予防医療、高齢者見守り
- ・日本版CCRC

【主な取組事例】

9.すべての人が輝く「ひとづくり」プロジェクト

- ・「地域中小企業人材バンク事業」「なごやジョブマッチング事業」
- ・教育機関・企業連携、長期インターシップ、フィールド学習
- ・「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(信州大・岐阜大・静岡大・三重大)、地域・大学連携、地域人材の育成

- ・「住みよい信州＊わーくプロジェクト」、多様なワークスタイル
- ・「新ダイバーシティ経営企業100選」、「ものづくり女子の活躍応援サイト」、女性・多様な人材活用
- ・「岐阜県子育て支援エグゼレント企業」「しずおか女子きらっ☆」ワーク・ライフ・バランス
- ・男性の育児参画、イクメン、イクボス
- ・「人生二毛作社会」、「元氣いきいき！シニアサポーター事業(静岡市)」
- ・「NPOしずおかユニバーサル園芸ネットワーク(浜松市)」、農福連携
- ・「外国人労働者の適正雇用と日本社会への適応を促進するための憲章」(東海3県・名古屋市・静岡県、経済団体等)

10.新たな「つながり」社会構築 プロジェクト

- ・日常生活支援サービス産業・課題解決型NPO育成、ソーシャルビジネス起業支援
- ・中間支援組織「あいちコミュニティ財団」「ふじのくに未来財団」
- ・クラウドファンディング、ソーシャルインパクトボンド、CSR活動、プロボノ活動

- ・「ふじのくにに住みかえる事業」「三河の山里なりわいづくり推進事業」UIJターン、移住定住・起業就業支援
- ・保育環境整備、病児・病後児保育、潜在保育士支援
- ・住宅セーフティネット
- ・「空き家住宅適正管理促進事業(長野県)」、空き家再生
- ・「のき山学校(東栄町)」、廃校舎活用の交流拠点整備

- ・「健康シニア笑顔いっぱい推進事業(静岡市)」、地域包括ケアシステム
- ・「地域包括ケア病床・訪問介護ステーション整備(静岡県)」、質の高い医療提供体制構築
- ・「信州ACEプロジェクト推進事業」、健康長寿・健康づくり、予防医療
- ・「多世代まちなか・むらなか居住構想(長野県)」、日本版CCRC
- ・救急救命医療、ドクターヘリ共同運行(富山県・岐阜県)

■全ての人々が参画する社会の形成

＊女性活躍社会



「なでしこ銘柄」選定企業
H24年度ダイバーシティ
経営企業100選 受賞企業例

ふじさんっに応援隊として
活動するシニア

＊男性の育児参画推進 (ファザー・オブ・ザ・イヤーinみえ)



【写真提供】三重県

＊高齢者社会参画



【写真提供】静岡県



【写真提供】長野県

＊障害者共生社会 農福連携 (長野県・農業就労チャレンジ事業)



【写真提供】長野県

＊多文化共生



【写真提供】愛知県

■共助社会

＊ソーシャルビジネス支援 (官・金・中間支援組織連携)



■地域包括ケアシステム(四日市市の取組事例)

- ・地域完結型の日常生活支援を目的、住民・自治会が主体の「ライフサポート三重西」発足
- ・H25.3月より、高齢者等向けに地域住民による安価な日常生活支援サービス提供がスタート



■健康長寿

＊信州ACEプロジェクト推進事業(長野県)



【写真提供】長野県

■救急救命医療

＊ドクターヘリ共同運航 (富山県・岐阜県)



【写真提供】岐阜県

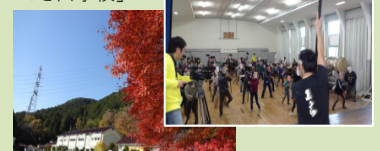
■空き家再生

＊空き家見学ツアー (愛知県交流居住センター)



【写真提供】愛知県

＊廃校舎活用・地域交流拠点 「のき山学校」



【写真提供】愛知県

第5章 計画の効果的推進に向けて

選択と集中による重点化・効率化を図った施策展開

- ・本計画は、世界を先導するスーパー・メガリージョンのセンターとして、我が国の成長エンジンの一翼を担っていくことを目的に、中部圏広域地方計画協議会における十分な議論を踏まえて策定。
- ・中部圏の目指すべき将来像の実現に向けて、産業・観光・環境・福祉等の国の分野別計画や各県・政令市の総合計画をはじめ、中部圏形成にかかわる諸計画と整合・調整を図りつつ、効果的に計画を推進。
- ・本計画と車の両輪とも言える「中部ブロックにおける社会資本整備重点計画」及び、各県・市町村「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「国土強靱化地域計画」等との十分な連携。
- ・中部圏広域地方計画協議会の構成機関をはじめ関係機関や関係者が広域的に連携を図り、選択と集中による重点化・効率化を図った各種施策の展開・具体化。

PDCAサイクルによるフォローアップ

- ・中部圏広域地方計画協議会は、本計画の実効性を高め着実な推進を図る観点から、計画(plan)・実行(do)・評価(check)・改善(act)のプロセスによるフォローアップを毎年実施するなど効果的な進捗管理。
- ・中部・北陸圏の広域連携に係る施策展開に当たっても、「北陸圏・中部圏広域地方計画合同協議会」の枠組みなどを活用し、適宜、フォローアップを実施。

新たな中部圏広域地方計画とは

国土形成計画法第9条に基づく、中部圏の2050年頃までを展望しつつ、2027年リニア中央新幹線東京・名古屋間開業を見据えた、今後概ね10ヶ年間の国土形成に係る基本的な計画。
世界を先導するスーパー・メガリージョンのセンターとして、差し迫る人口減少・高齢化に適応し、安全・安心でリニア効果を最大限発揮、我が国の成長エンジンの一翼を担う中部圏の国土づくりに係る指針として、中部圏広域地方計画協議会でとりまとめ、国土交通大臣が決定(2016.3.29)

中部圏広域地方計画協議会

(事務局:中部圏広域地方計画推進室)

国土交通省中部地方整備局 企画部 広域計画課
建政部 計画管理課
中部運輸局 交通政策部 交通企画課

表紙写真提供

三菱航空機株式会社、東海旅客鉄道株式会社、静岡県
三重県、環境省、トヨタ自動車株式会社